

第8回津別町議会定例会『行政報告』

本日ここに第8回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、第7回臨時会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る12月1日、津別町自治功労者 水上^{ひとし} 齋 様のご逝去されました。故人は、永きにわたり交通指導員として地域住民の交通安全指導と交通安全思想の普及に多大なご貢献をいただきました。

生前中の数々のご功績に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げますとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げます次第であります。

次に、北海道大学の課外活動団体「HALCC(ハルク)」による成果報告会についてであります。12月14日、中央公民館で開催されました。今年度の高大連携事業は、町政要覧をもとに高校生が考える「理想の津別町」をテーマに、HALCCからのアドバイスを受け、具体的な解決策や振興策の提言がまとめ上げられました。当日は、残念ながら2名が欠席しましたが、高校2年生19名が、実に興味深いアイデアを次々と発表し、中には「自分たちが魅力

を発信して人を集める」「自分たちがデザインを作成する」との発言もあったことから、将来は是非とも津別町役場の職員になって欲しいと願うところです。

HALCCからは、この1年間の取組について、北大祭でのクマヤキ販売のほか、高大連携事業の総括として、大学生との授業を通じた生徒の成長や津別マルシェについての報告がありました。

また、政策提言として「木の酒による地域活性化」と「つべつ木材アートフェスティバル」などの提言があり、今後とも町づくりを大学生の協力を得て進めて参りたいと考えております。

高大連携事業は、人材育成や地方創生の直接的な効果のみならず、若い世代が地元や地方の課題を考える良い機会となっており、今後、地域の様々な団体との接点を増やし、さらに活動範囲を広げられていくことを期待するものであります。

次に、**建設工事等の発注状況**についてであります。12月10日現在、すべての発注を終了しており、

- 一般土木工事関係については、全24件

219,178千円

- 一般建築工事関係については、全19件

1,593,735千円

○ 簡易水道・下水道工事関係については、全6件

249,128千円

○ 設計等委託業務関係については、全22件

148,403千円

であり、令和6年度予算分として総額2,210,444千円となっております。

なお、今議会におきまして、条例制定、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。